

# 「のびゆく下市っ子」を育てよう!～地域と共にある学校、地域と共に歩む学校を目指し、学校・地域の活性化を図る活動～

## 奈良県下市町

### ■ 活動名

下市小学校コミュニティ

### ■ 関係する学校

下市町立下市小学校

活動区分	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無	
学校支援 地域本部	1人	13人	24年度	有	
基本データ	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無	
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	
コミュニティ・スクール					
その他					

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

### 活動の概要

本町では平成22年度・23年度の2か年にわたる学校統合がなされ、町唯一の小学校となり、校区は町内全域に拡大された。子供のいない地域では、住民の学校に対する関心が希薄になりつつある。また、児童も地域での社会体験が減少し、社会性や規範意識が十分に育まれていないという課題がある。そこで、学校統合を契機とし、「学校と保護者、地域が子供たちの課題解決のために参画・協働し、一体感をもって取り組むことにより、地域の教育力の向上をめざす」並びに「本活動を通して育まれる所属感や連帯感を基盤にした人間関係を再構築することにより、児童の自尊感情を高め、社会性や規範意識の醸成を図る。」ことを主眼として本活動に取り組んだ。

#### 〈活動の内容〉

- 地域再発見活動
  - ・地域の特色を知る社会見学 ・高齢者から昔の暮らしや遊びについて学ぶ活動 ・地域と連携した郷土食「柿の葉ずし」づくり
  - ・老人会の方々を招いての交流グランドゴルフ大会 ・地域行事への参加 (夏祭り、初市) 等
- 地域団体による支援活動
  - ・子供の登下校の安全見守り活動 ・ボランティアによる本の読み聞かせ(お話し会) ・地域花いっぱい運動 等
- 学校・保護者・地域との参画・協働を推進する熟議の場の設置
  - ・学校と校区区長、関係団体、PTA本部役員との「教育懇談会」の開催
  - ・学校と地域団体、PTAとの「下市小学校コミュニティ協議会」の開催
- 学校支援ボランティアの募集

### ■ 特徴

#### 【特徴的な活動内容】

○地域の特色を生かした社会見学…文化研修部と地域住民が熟議し、地域の特色を生かした社会見学を企画。地元神社で聞き取りや統合となった旧小学校を巡るなど地域の特色を活かし、社会科の学習の充実を図ると共に、郷土を愛し、郷土を誇りに思う心を育んだ。○「地域花いっぱい運動」…特別活動指導部と地域の方が熟議し、校区の公共施設や主要な箇所の子供たちの似顔絵とメッセージ入りのプランターを設置した。地域の方々と子供たちが協働して花を育てた。世代を超えて協働することで、地域の方々に見守られ生活していることを児童は体感した。○「教育懇談会」の開催…校区内の区長、関係団体、PTA役員が集い、教育懇談会を開催。子供の健全育成に関わる課題や課題解決に向けた協議を行い、新たな取組につなげた。率直な意見交換や熟議により、協働して課題を解決し、地域全体で子供の育ちを支えようとする意識が高まった。○校区老人会を招いてのグランドゴルフ交流会…校区老人会による校内美化奉仕作業を通じて築いた世代を超えた交流を深めるため、地域の老人会を招いてグランドゴルフを通じた交流会を実施し、老人会の方からルールやプレーの指導を受けた。児童は地域の方々に見守られて生活していることを実感し、高齢者は次代の子供を育てる担い手としての自らの役割を再確認した。

#### 【実施に当たっての工夫】

○学校全体で子供の課題を分析し、全教職員共通理解のもと、子供たちの課題解決に向けた取組を共有した。そのためのしくみとして、校務分掌組織の中に地域コミュニティ部を設置し、それぞれの分掌ごとに地域の方々と熟議を重ね、地域と協働して教育推進上の課題解決に取り組んだ。このしくみにより、地域の方々と子供の教育課題の解決に向けた取組を創出する場が生まれた。○学校統合により生まれた地域住民の心理的な距離を縮め、小学校への関心を再び高めるとともに、「おらが学校」意識の醸成を目指し、学校行事をはじめ様々な教育活動を町内ケーブルテレビ等さまざまなツールを用いて情報発信した。また、「教育懇談会」等を通じて、学校の取組や課題を地域に向け直接発信するとともに、学校が地域に出向くことによって、地域住民と協議しながら取組を進めた。○学校支援ボランティアの募集については、コーディネーターと熟議して作成した募集チラシを町広報誌に折り込んで全戸に配布するなど工夫した。チラシの全戸配布によって、地域の方々の本活動への理解が深まり、地域全体で子供を育てようとする意識の高まりが見られる。

### ■ 事業を実施して

○学校と保護者・地域が協働する様々な活動・取組を通じて、学校に対する地域住民の関心が高まった。○本事業により、教職員間に保護者や地域住民の参画・協働を目指す視点が生まれ、学校行事の企画・運営について見直し、参画・協働を得た新たな取組が生まれる契機となった。○本事業の様々な取組を通じて、児童・教職員と地域住民が顔見知りの関係となり、児童から地域の方にあいさつをするなど地域との親近感や連帯感がこれまで以上に増してきている。○本事業の活動を通じ児童は、保護者はもとより地域住民に日々見守られ、支えられて過ごしていることを改めて実感した。また、地域の人から自分に向けられる温かいまなざしにより自分は大切にされているという思いが生まれ、自尊感情の醸成につながった。

### ■ その他

過疎化・少子化が進む本町では、学校統合により地域コミュニティの核であった学校がなくなった上に、小学校に在籍する子供が地域に少ないことから、地域住民の学校や子供に対する関心が希薄になりつつある。この状況にあって、本事業を通して、「もっと学校や子供に関心を持たないといけない。」「時代を担う下市っ子を地域全体で健全に育てよう」という機運が高まっている。



地域花いっぱい運動



老人会との交流グランドゴルフ大会